

令和元年度第2回柳井警察署協議会会議録

開催日時	令和元年9月10日（火）15時00分から17時00分まで	
開催場所	柳井警察署 4階 講堂	
出席者	委員	藤川 祐治、窓原 恵美子、伊藤 博之、山田 一男、 福永 進、柳澤 裕美、田代 勉、川寄 真希子 計 8名
	警察署	署 長、副署長、会計主幹、警務課長、生活安全課長、 地域第一課長兼地域第二課長、地域第三課長、刑事課長、 交通課長、警備課長 計 10名
議題	1 警察業務の推進状況 2 「速度取締り指針」の見直しについて 3 高齢者の交通事故防止対策について	
<p>1 会長挨拶</p> <p>柳井警察署協議会委員として3期目を迎え、前会長の御推薦もあって、今年度から会長職を務めることになった。</p> <p>私としては不安も多くあるが、やるからには一生懸命頑張ろうと思っているので御協力を願いたい。</p> <p>最近、全国では毎日のように事件・事故、災害等が発生しているが、安心して暮らせるまちづくりには、警察と関係機関が協力する必要があると思うので、柳井警察署協議会もその機関の一つとして尽力したいと思う。</p> <p>本日は、積極的な意見を出し合っていたきたい。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 業務説明</p> <p>(1) 警務課関係 警察安全相談の取扱及び対応状況やメールマガジンによる情報発信活動、署員が取り組んだ行事等について説明した。</p> <p>(2) 会計課関係 遺失・拾得物の取扱状況について説明した。</p> <p>(3) 生活安全課関係 管内の刑法犯の認知状況やうそ電話詐欺の発生状況、被害防止に向けた各種対策、キャンペーン等の広報活動について説明した。</p>		

- (4) 地域課関係
管内の交番、駐在所での取扱業務や110番・署通報の受理・対応状況、地域警察官による検挙活動や巡回連絡の実施状況について説明した。
- (5) 刑事課関係
刑事課各係の業務説明、重要犯罪、特殊詐欺、暴力団犯罪の認知、検挙件数等について説明した。
- (6) 交通課関係
県内及び管内の交通事故発生状況、高齢者の被害防止対策、各種交通安全活動等、重大交通事故の未然防止に向けた取組について説明した。
- (7) 警備課関係
警護警備、雑踏警備等について説明した。

4 協議

- (1) 「速度取締り指針」の見直しについて
- (2) 高齢者の交通事故防止対策について

(委員)

交通事故の原因は、何がが多いのか。速度取締りの実施場所は、人身事故が増えた場所を重点的に実施しているのか。

(交通課長)

脇見運転の事故が多い。人身事故の増減に関わらず、いろいろな場所で取締りを行っており、運転手に注意喚起を促している。

(委員)

整備された直線道路は見通しが良く、つい速度を出してしまいがちである。

今後も取締りを強化し、速度超過による事故の恐ろしさを周知させてほしい。

(委員)

確かに、取締りの成果なのか、以前に比べるとスピード超過の車両は減ってきているのではないかと感じる。

しかし、道路事情も良くなり規制速度を遵守しない運転手もいると思うので、取締りは、やはり重要なことである。

(交通課長)

山口県警では、スピードダウン運動を推進中であり、スピード違反が重大な事故につながるといった意識が浸透してきているのではないかと思います。

(委員)

道路状況が良いとついボーッととしてスピードを出しそうになることがあるので、気を付ける必要があると思う。

また、主要道路を走行中の車両が脇道から出ようとする車両に道を譲るのは、逆に危険なことなので、高齢者にそのような教育も必要だと感じる。

(署長)

いろいろな意見を出して頂き感謝申し上げます。今後も委員の方々の貴重な意見を

反映しながら、取締りを行っていきたい。

(委員)

平生町内の山道でスピードを出しやすい場所があるので、大きな事故にならないよう願っている。

(委員)

速度違反があることは知っているが、最低速度の取締りはないのか。

(交通課長)

速度を決めて取り締まることはない。また、最低速度の取締りは一般的にはない。

(委員)

周防大島町内の国道は、低速で走る車両も散見する。走行に適した速度はあると感じている。

(委員)

周防大島町は釣客も多く、海岸沿いで車両を停車させて釣りをやっている者も散見する。事故を誘発してもいけないので、取締りはできないのか。

(署長)

妨害になっていると思われれば、取締りをしていく。

(委員)

進路変更の直前で方向指示器を出す人も見掛ける。パトロールで注意喚起してほしい。

(委員)

方向指示器を出さない人も結構多い。

(委員) 窓原副会長

方向指示器を出さなければなしにする人も散見する。

(交通課長)

パトカー勤務員と連携しながら交通指導取締りに努めていきたい。

(委員)

あおり運転は、柳井警察署管内ではないのか。

(交通課長)

今のところ、当署管内では認知していない。

(委員)

パトカーの赤色灯の点灯は、事故の予防や防犯上、大変良いことだと思うので続けてほしい。今後も見せる活動も大事だと思う。

(委員)

信号機のない横断歩道で、車両を停車させて歩行者を優先させるか迷う時がある。

(交通課長)

法律では横断歩道の手前で停車し、歩行者を優先させるべきである。

(委員)

私を感じるには、10%程度しか停まっていないような気がする。

(委員)

次に、高齢者の事故防止対策について感じることを述べていただきたい。

VR体験をしたが、実際に見るのと変わらないくらいの高画質画像で良い体験をした。いざという時になかなか体が動かないことも分かった。今後は、高齢者を対象に体験させることが必要だと思われる。

(交通課長)

交通安全学習館に赴けば体験できるので、他の方々にも勧めてほしい。

(委員)

高齢者は真っ直ぐ歩かず、斜めに歩く特徴があり危険である。

(委員)

高齢者の特徴としては、色の黒い服装が多くなるので、反射材が付いたタスキ等を使用すれば良いと思う。

(交通課長)

反射材は積極的に配っているが、紛失してしまう人も多いと聞いた。

今後は、キーホルダーやエコバッグ等を配る予定なので活用してほしいと思っている。

(委員)

反射材は、小さな町内会レベルでも配布してもらえるのか。

(署長)

交通安全に役立つのであれば、積極的に配布したいと思っている。

5 配布資料

業務説明資料（警察署作成）

6 次回警察署協議会開催日程

次回の警察署協議会は12月中に開催予定である。